

# 7月20日（水） 知事会見

全県に「医療警報」を発出します

# L452Rスクリーニング検査陽性率の推移

L452Rスクリーニング検査陽性率（BA.5<sup>※</sup>等への感染が疑われる陽性者の割合）が増加、**直近（7/11~7/17）の陽性率は6割となっており、BA.5への置き換わりが進行**

※ BA.4、BA.5系統の特性（BA.2系統との比較）：感染者増加の優位性、免疫逃避の可能性

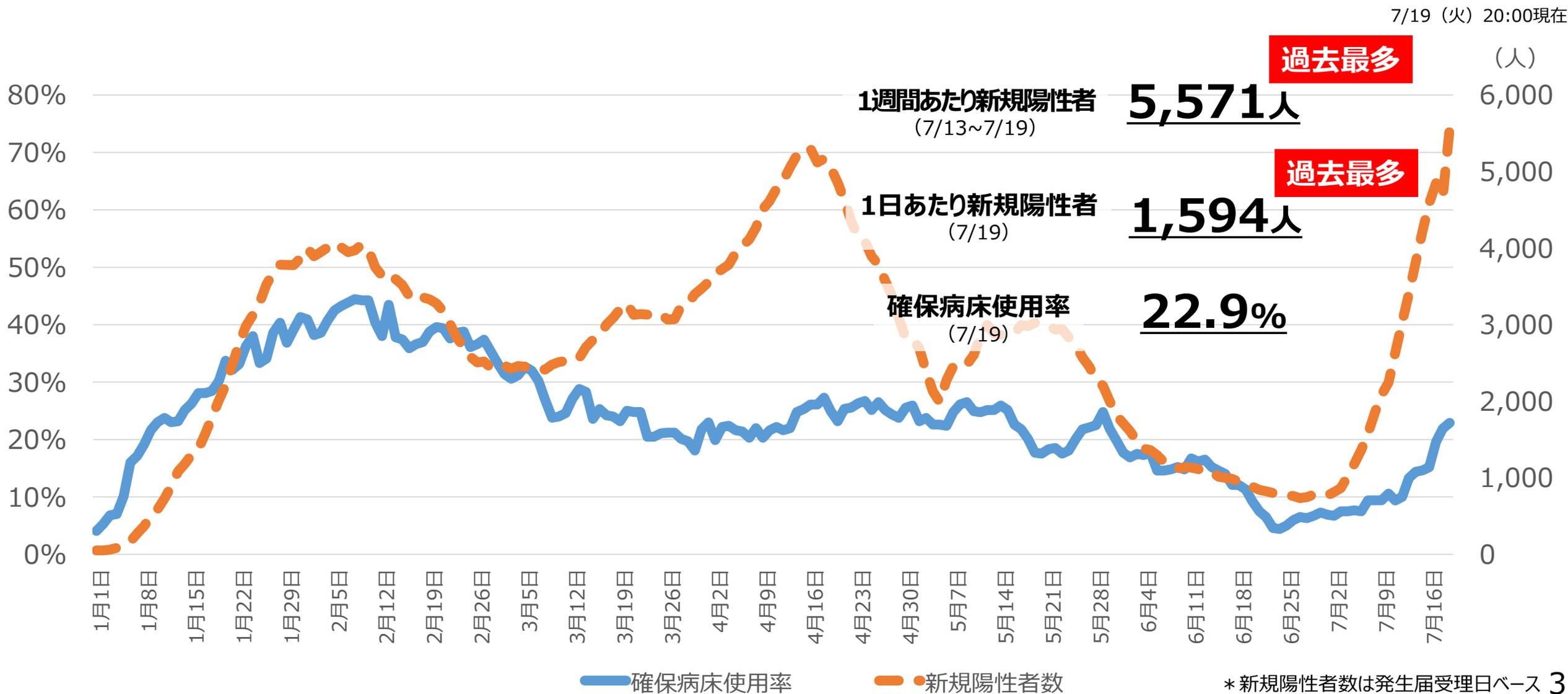
7/19（火）20:00現在

届出受理日	届出患者数 ①	検査実施数 ②	陽性者数 ③	陽性率 (③/②)
6/13~6/19	935	47	0	0.0%
6/20~6/26	765	27	1	3.7%
6/27~7/3	869	32	5	15.6%
7/4~7/10	2,246	68	21	30.9%
7/11~7/17	4,850	24	14	<b>58.3%</b>
累計(R4年6月以降)	-	281	41	14.6%

※スクリーニング検査は届出後に行われるため、実施率等は随時上方修正される。

# 確保病床使用率と直近1週間の新規陽性者数の推移

新規陽性者数が過去最多を更新、確保病床使用率も22.9%まで上昇





# 直近1週間の感染経路

主な感染経路は、「同居」(23.6%)、「学校・児童福祉施設」(9.6%)、「職場」(4.2%) など  
**様々な生活の場面で感染が拡大**

7月19日20時現在

	陽性者数(人)	全県に占める割合※
県外	118	3.1%
同居	904	23.6%
医療機関	25	0.7%
学校・児童福祉施設	368	9.6%
高齢者施設	86	2.2%
職場	162	4.2%
飲食店・会食	75	2.0%
その他接触(知人・親族等)	587	15.3%
不明	1,502	39.2%
調査中	1,744	-
計	5,571	-

※調査中を母数から除く

「医療アラートの発出基準」における確保病床使用率25%以上という目安には満たないが、「新規陽性者数」、「高齢者新規陽性者数」、「入院者数」等の現状を踏まえ、総合的に判断



**全県に「医療警報」を発出し、  
以下8圏域の感染警戒レベルを「4」に引き上げます**

＜佐久、上田、諏訪、上伊那、南信州、松本、長野、北信＞

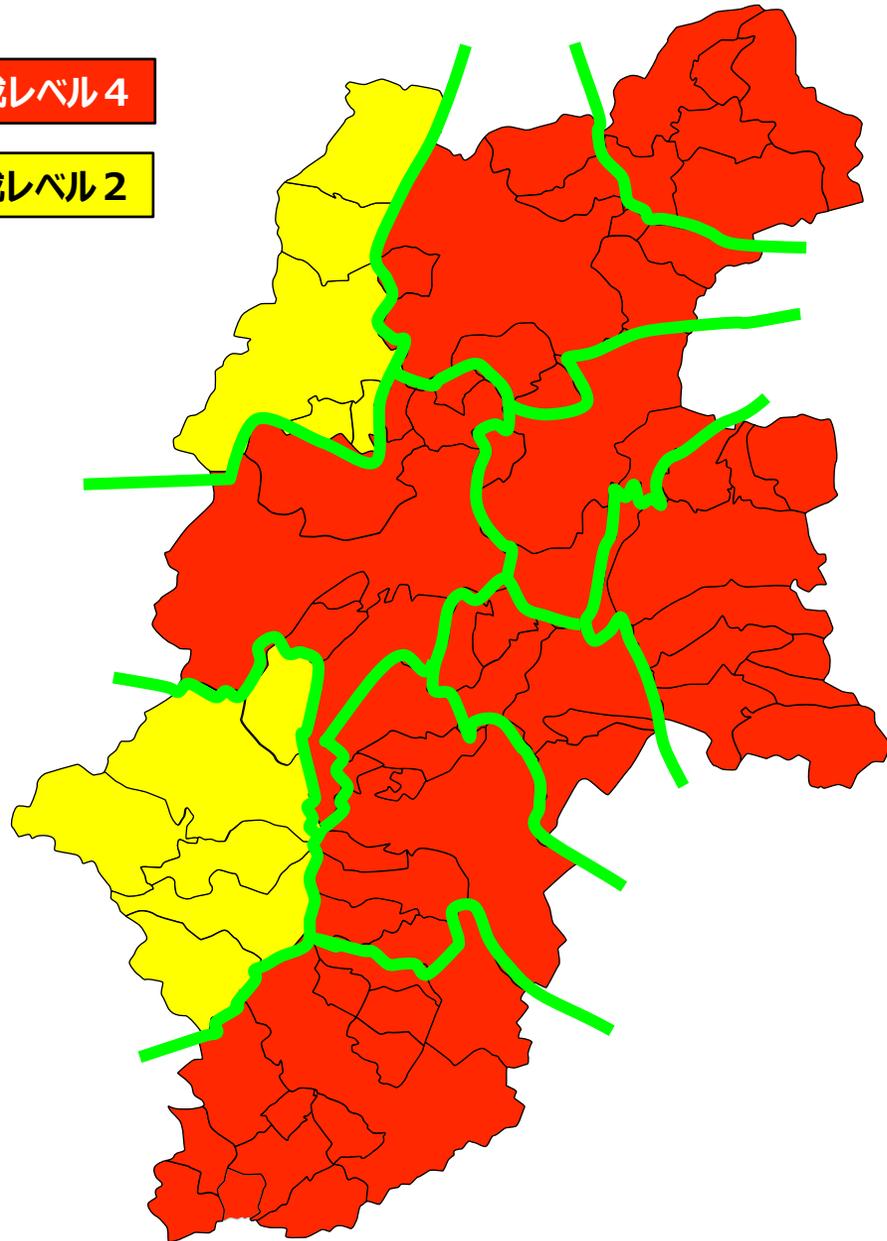
**目標**

**医療特別警報（確保病床使用率35%以上）の発出を回避し、  
確保病床使用率25%を安定的に下回ることを目指す**

# 圏域ごとの感染警戒レベル（本日レベル引上げ後）

感染警戒レベル4

感染警戒レベル2



圏域	感染警戒レベル	直近1週間の新規陽性者数(人)	人口10万人あたり(人)
佐久	4	708	(346)
上田	4	594	(306)
諏訪	4	342	(176)
上伊那	4	397	(221)
南信州	4	523	(337)
木曽	2	29	(114)
松本	4	1,083	(256)
北アルプス	2	39	(69)
長野	4	1,681	(316)
北信	4	175	(212)

※直近1週間の新規陽性者数及び人口10万人あたりは7月13日～7月19日の値  
（届け出受理日による）

(配付資料参照)

# ワクチン接種のご検討をお願いします

- 4回目接種の対象の方（60歳以上の方、基礎疾患のある方等で3回目接種から5か月経過した方等）は、  
重症化予防のため速やかな接種を検討してください
- 若年層をはじめとする3回目までのワクチン接種がお済みでない方は、  
感染・重症化予防に加え、いわゆる後遺症からご自身を守るためにも、  
ぜひ接種をご検討ください

# 県としての対策

「第7波の入口における当面の対策」（令和4年7月15日）に基づき、医療・検査体制を強化するとともに、ワクチン接種のさらなる推進に取り組みます

## 1 医療・検査体制等

- 北信地域に8月中に新たな宿泊療養施設を開設
- 1万人の自宅療養者に対応できるよう、健康観察センターの体制を強化
- 地域振興局等の兼務職員（787人）を最大限活用し、保健所の体制を強化 など

## 2 ワクチン接種

- 県接種会場（県下9圏域）における4回目接種及び初回、3回目接種の引き続きの実施
- 高齢者入所施設における接種の速やかな実施。県は巡回接種により支援
- 医療従事者、高齢者施設等従事者への接種が開始された際の速やかな接種の実施

## 3 基本的な感染防止対策の徹底

※県機関において、テレワークや時差勤務の活用等により、従事職員数の抑制の取組を推進